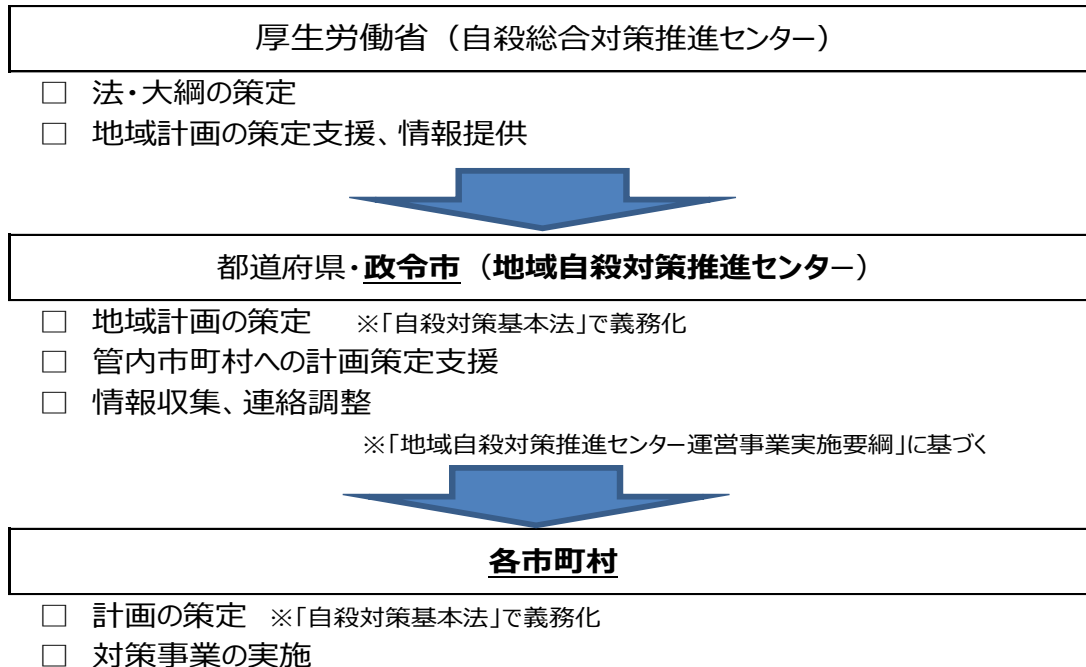


自殺対策における 精神保健課（いのちの応援係）の役割、
今後の動きについて

1 国による自殺対策推進のイメージ



2 当課（係）における2つの役割

A：「地域自殺対策推進センター」としての役割

- ① 情報収集・分析・提供
 - ② 市内関係機関の連絡調整
 - ③ 民間団体への支援
 - ④ 人材育成研修
 - ⑤ 市内関係機関における自殺未遂者及び自死遺族等支援に対する指導
- ※「堺市地域自殺対策推進センター設置要領」に基づく

B：市町村としての役割

- ① 計画の策定
- ② 対策事業の実施

3 実際の事業への落とし込み、紹介（H29 年度実績）

A：「地域自殺対策推進センター」としての役割

① 情報収集・分析・提供

- ①-1：警察庁統計、人口動態統計、実態プロフィール等を基に、随時情報提供

② 市内関係機関の連絡調整

②-1：自殺対策庁内連絡会

第1回：平成29年7月20日（木） 第2回：平成30年2月8日（木）

②-2：自殺対策連絡懇話会

医師、学識経験者等から専門的な意見を聴取するために開催。

第1回：平成29年8月3日（木） 第2回：平成30年2月20日（火）

②-3：自殺未遂者ケア研修（救急医療関係者向け） ※昨年度より、「支援者向け支援」を主眼に実施

日時：平成 30 年 2 月 27 日（火）14:30～17:00

講師：いちメンタルクリニック日本橋 院長 池下克実 氏

内容：支援者側に起こる反応と対応を考える

受講者：13 名

②-4：相談機関一覧（悩み相談）作成・配布 17,000 部

③ 民間団体への支援

③-1：事例対応への相談等、随時対応

④ 人材育成研修

④-1：相談機関研修

市内の相談機関従事者等を対象に、相談技術等の向上を目的に、年 2 回研修を実施。

<第 1 回>

日時：平成 29 年 9 月 6 日（水）14:00～16:30

講師：一般社団法人「WANA 関西」 代表理事 藤木 美奈子 氏

内容：なぜうまく生きられないのか～「育ちの傷」を理解する～「当事者」の立場から

受講者：81 名

<第 2 回>

日時：平成 30 年 1 月 17 日（水）14:00～16:30

講師：一般社団法人「WANA 関西」 代表理事 藤木 美奈子 氏

内容：なぜうまく生きられないのか～「育ちの傷」を理解する～「支援者」として

受講者：94 名

④-2：かかりつけ医うつ病対応力向上研修

内科医等を中心にうつ病等に関する知識を習得する研修を実施。

日時：平成 30 年 2 月 9 日（金）14:00～16:00

講師：阪南病院 精神科医長 熊取谷 知征 氏

受講者：49 名

④-3：自殺未遂者ケア研修（救急医療関係者向け） ※再掲

⑤ 市内関係機関における自殺未遂者及び自死遺族等支援に対する指導

⑤-1：本市においては、自殺未遂者及び自死遺族等支援について、市が直接実施

B：市町村としての役割

① 計画の策定

①-1：堺市自殺対策推進計画（第 2 次）の策定、進捗管理

② 対策事業の実施 ※当係分のみ紹介

②-1：自殺未遂者への相談支援（いのちの相談支援事業）

警察署、救急隊、救急告示病院（市内 14 ヶ所と連携）において自殺未遂者の取扱いがあった場合、本人もしくはその家族からの支援希望（同意）に基づき、専門職による直接支援を実施する。

※別途「いのちの相談支援事業」実績資料参照

②-2：ゲートキーパー養成研修

自殺対策において早期対応できる人材を養成するため、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る「ゲートキーパー」養成研修を実施。 ※市民対象各 120 分

【基礎編】講師：堺市役所 精神保健課 いのちの応援係職員

実施日	会 場	受講者数
9 月 17 日（火）	堺市役所本館 地下 1 階 大会議室	82 名
10 月 4 日（水）	西文化会館（ウエスティ）7 階セミナールーム	58 名
10 月 17 日（火）	梅文化会館 3 階 第 1 講座室	59 名

【ステップアップ編】 講師：馬場記念病院 臨床心理部 主任臨床心理士 梨谷竜也 氏
堺市役所 精神保健課 いのちの応援係職員

実施日	会 場	受講者数
12 月 5 日（火）	堺市総合福祉会館 5 階 第 3 研修室	72 名

②-3：職域連携推進事業

自殺者が多いと言われている勤労者層に向けて、メンタルヘルスの知識を普及・啓発し、相談・受診につなげるきっかけとすることを目的に、市内事業所の経営者や労務担当者等を対象とした研修を実施。

<メンタルヘルス対策セミナー>

日時：平成 29 年 6 月 15 日（木）14：00～16：30

講師：松村ストレスクリニック 院長 松村 一矢 氏

受講者：86 名

<事業所メンタルヘルス推進担当者研修会>

日時：平成 29 年 12 月 7 日（木）

講師：精神科医 鍵本 伸明 氏

労働衛生コンサルタント 岡田 邦夫 氏

精神科医 渡辺 洋一郎 氏

受講者：104 名

②-4：普及啓発

<こころの健康づくり講演会>

日時：平成 30 年 3 月 3 日（土）13:20～15:30

終了後 16:30 まで、堺市医師会医師による「無料こころの相談コーナー」を開設。

会場：堺市総合福祉会館 6 階 ホール

講師：近畿大学総合社会学部総合社会科心理系専攻 教授 堀田 美保 氏

内容：「こころが軽くなるコミュニケーション術」

参加者：187 名

<自殺予防週間（9／10～16）、自殺対策強化月間（3 月）の啓発活動>

・各区役所にて、自殺予防啓発パネル展及び懸垂幕の掲揚

・街頭啓発キャンペーン（中百舌鳥駅前）

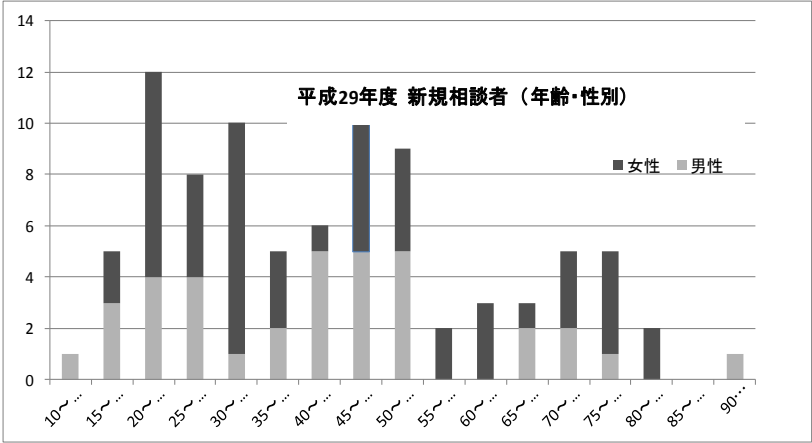
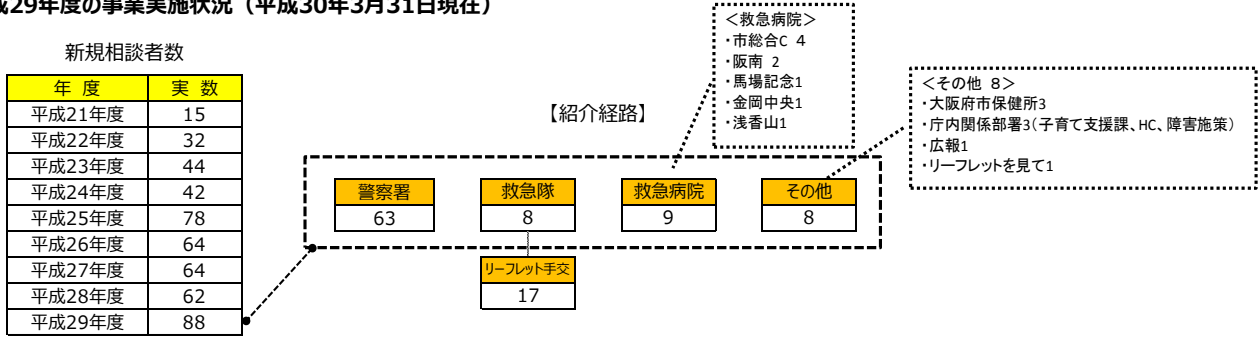
日時：平成 29 年 9 月 11 日（月）7:30～

日時：平成 30 年 3 月 1 日（木）7:30～

<相談機関一覧（悩み相談）作成・配布 17,000 部> ※再掲

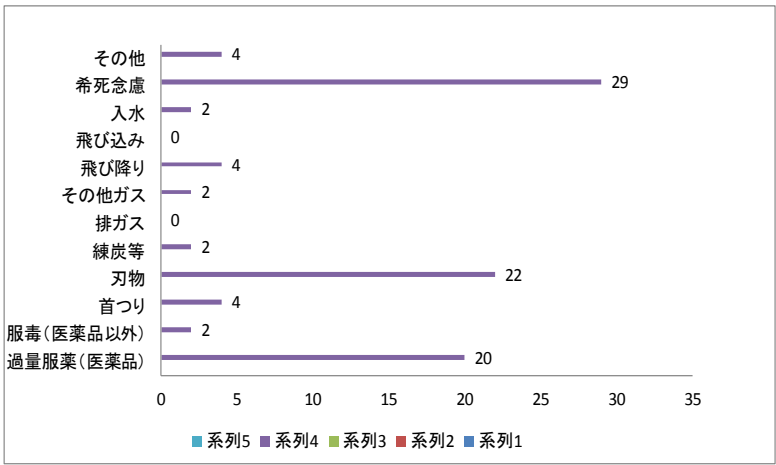
[②-1 別記：「いのちの相談支援事業」実績資料]

平成29年度の事業実施状況（平成30年3月31日現在）



平成29年度 新規相談者の内訳（年齢・性別）

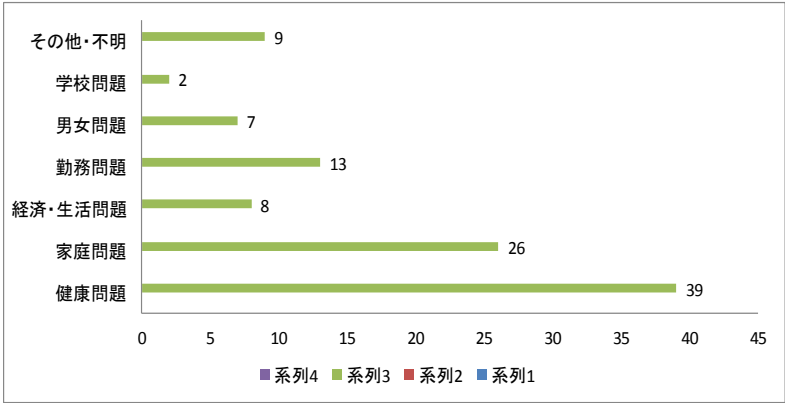
年代	男性	女性	合計
10～14歳	1	0	1
15～19歳	3	2	5
20～24歳	4	8	12
25～29歳	4	4	8
30～34歳	1	9	10
35～39歳	2	3	5
40～44歳	5	1	6
45～49歳	5	6	11
50～54歳	5	4	9
55～59歳	0	2	2
60～64歳	0	3	3
65～69歳	2	1	3
70～74歳	2	3	5
75～79歳	1	4	5
80～84歳	0	2	2
85～89歳	0	0	0
90歳以上	1	0	1
合計			88



自殺未遂の手段	人数
過量服薬（医薬品）	20
服毒（医薬品以外）	2
首つり	4
刃物	22
練炭等	2
排ガス	0
その他ガス	2
飛び降り	4
飛び込み	0
入水	2
希死念慮	29
その他	4
計	91

・車への衝突
・車への飛び込み
・体に火をつける
・遺書を残し失踪

* 重複あり



主な原因動機	人数
健康問題	39
家庭問題	26
経済・生活問題	8
勤務問題	13
男女問題	7
学校問題	2
その他・不明	9
計	104

こころの健康 30
身体の健康 5
両方 4

* 最大3つまで計上

平成29年度（H30年3月31日現在）の延べ対応件数 ※平成21年度からの継続相談も含む

(1) 相談者の種別		(2) 対応状況		(3) 援助区分		(4) 相談内容	
相談者	計	状況	計	種別	計	相談内容	計
本人	1,810	本人・家族への対応	2,282	来所相談	163	健康問題（精神疾患）	1,375
家族・親族	696	関係機関との調整	1,248	訪問	330	健康問題（その他）	249
関係機関	1,314	安否確認	154	同伴	47	経済問題	220
友人	4	心理検査・リスク評価	7	電話（入電）	1,175	家庭関係	271
その他	11	心理面談	83	電話（架電）	1,874	労働関係	104
計	3,835	計	3,774	嘱託医活用	3	日常生活	1217
				その他	51	子育て	51
				計	3,643	社会復帰	968
						その他	991
						計	5,446

メール・カンファなど

一年間の、実際の相談件数。
平成28年度は、2221件で、約
1.64倍増

知人・友人関係・関係
機関調整関係など

<参考> 平成29年度新規相談者（88名）についての関係機関との連携及び精神科受診率

医療機関以外の関係機関の有無	計	割合（％）	連携先（医療機関以外の関係機関ありの内訳）	計
あり	40	45	保健センター	11
なし	48	54	生活支援課（生活保護）	18
			その他 庁内関係部署（障害施策推進課、地域福祉課、子育て支援課、子ども相談所）	6
			障害福祉サービス関係（地活センター・計画相談等）	2
			障害者基幹型相談センター・社協	2
			高齢関係機関（ケアマネ・包括センター・介護保険サービス事業所）	5
			学校	1
			弁護士	1
			断酒会	2

* 重複あり

4 平成30年度 当係における特徴的な取組み（予定）

①：「支援者を支援する」ための研修

支援者自身のケアについて、「ポストベンション」の観点から考える研修を実施予定。
「相談機関研修」として2回、「自殺未遂者ケア研修」として1回、計3回実施予定。

②：ゲートキーパー養成 の更なる充実（自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発の充実）

自殺予防週間のある9月、自殺対策強化月間のある3月に合わせ、全7区で研修実施予定。
相談機関一覧（悩み一覧）を活用した啓発、連携の推進。

③：いのちの相談支援事業（未遂者支援事業）の分析・研究による振り返り・発信

事業開始から10年目を迎えるいのちの相談支援事業について、分析・研究を進める。